

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

う さ じん ぐう ちゅうしん れきしてきけい かん
宇佐神宮を中心とした歴史的景観まちづくりと
かんこうこうりゅうくうかん そうしゅつ
観光交流空間の創出

おおいたけん う さ し
大分県 宇佐市

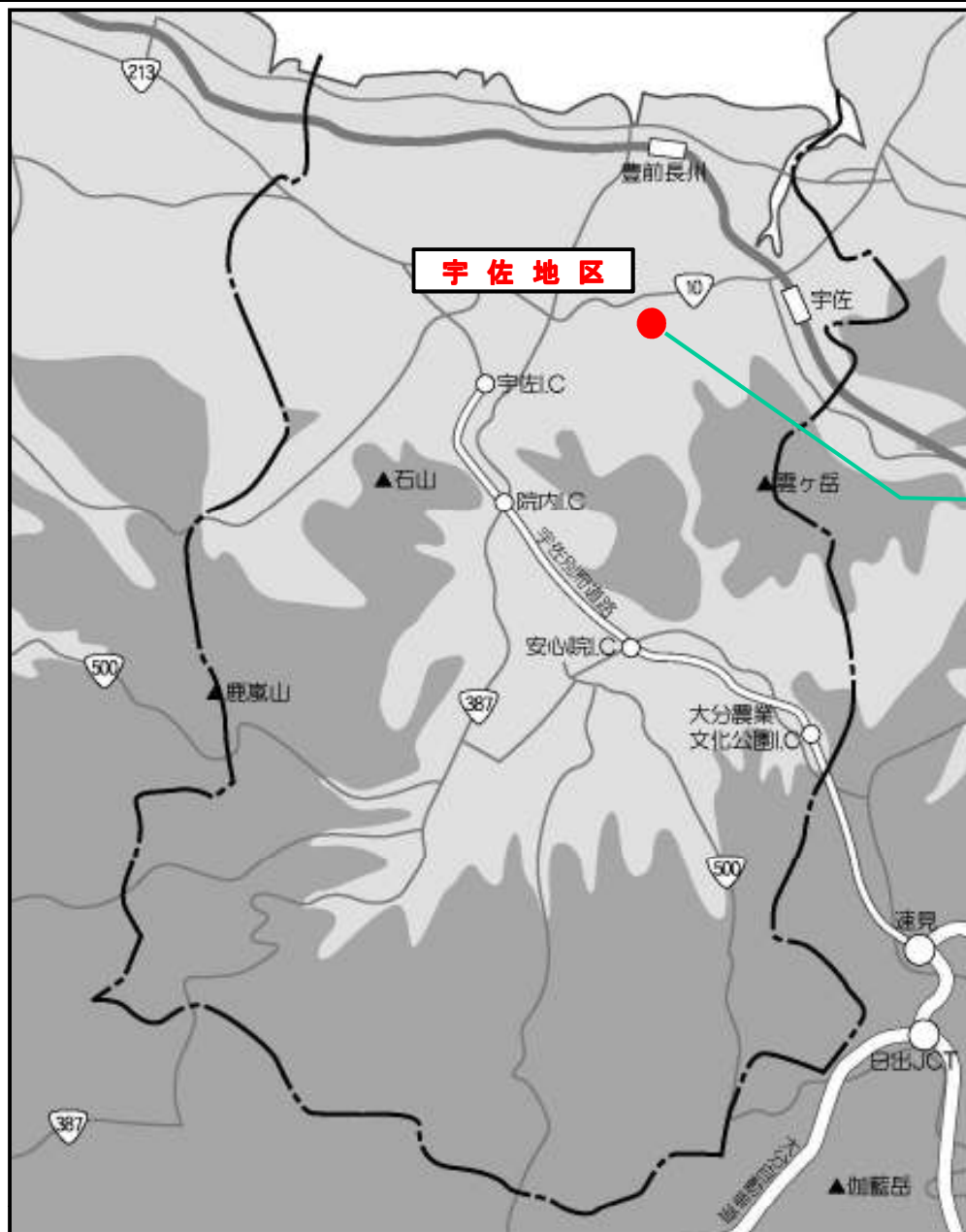
平成25年3月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

計画の名称	宇佐神宮を中心とした歴史的景観まちづくりと観光交流空間の創出																																	
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）					交付対象	宇佐市																											
計画の目標	『宇佐神宮の鳥居前町としての歴史的町なみを活用するとともに周辺エリア一帯に歴史と緑が調和した景観形成を図り宇佐市の観光の顔として魅力あるまちづくりを実現する。』																																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 宇佐神宮周辺の住環境整備による、居住者の居住環境の満足度 観光ボランティアのガイド回数の増 観光入込客数の増 																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H27末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居住者の住環境向上満足度（ポイント：5点=満足、4点=やや満足、3点=普通、2点=やや不満、1点を不満とし各地区の平均を算定） （住環境満足度）＝（個別回答満足度計×地区数）／（全地区アンケート回答数）</td> <td>2.2ポイント</td> <td>－</td> <td>3.0ポイント</td> <td>※中間目標は任意</td> </tr> <tr> <td>観光ボランティアのガイド回数の増 （ガイド回数＝（最終年度のガイド回数（観光協会）について当初現況値を上回るものとする）</td> <td>106回（±0%）</td> <td>－</td> <td>127回（+20%）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地区内の観光入込客の増 （観光入込客数）＝（最終年度の観光入込客統計調査に基づく観光入込客数について当初現況値の約2%増の185万人とする）</td> <td>1,811,000人</td> <td>－</td> <td>1,850,000人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	居住者の住環境向上満足度（ポイント：5点=満足、4点=やや満足、3点=普通、2点=やや不満、1点を不満とし各地区の平均を算定） （住環境満足度）＝（個別回答満足度計×地区数）／（全地区アンケート回答数）	2.2ポイント	－	3.0ポイント	※中間目標は任意	観光ボランティアのガイド回数の増 （ガイド回数＝（最終年度のガイド回数（観光協会）について当初現況値を上回るものとする）	106回（±0%）	－	127回（+20%）		地区内の観光入込客の増 （観光入込客数）＝（最終年度の観光入込客統計調査に基づく観光入込客数について当初現況値の約2%増の185万人とする）	1,811,000人	－	1,850,000人	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)																															
居住者の住環境向上満足度（ポイント：5点=満足、4点=やや満足、3点=普通、2点=やや不満、1点を不満とし各地区の平均を算定） （住環境満足度）＝（個別回答満足度計×地区数）／（全地区アンケート回答数）	2.2ポイント	－	3.0ポイント	※中間目標は任意																														
観光ボランティアのガイド回数の増 （ガイド回数＝（最終年度のガイド回数（観光協会）について当初現況値を上回るものとする）	106回（±0%）	－	127回（+20%）																															
地区内の観光入込客の増 （観光入込客数）＝（最終年度の観光入込客統計調査に基づく観光入込客数について当初現況値の約2%増の185万人とする）	1,811,000人	－	1,850,000人																															
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,000 百万円	A	1,000 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%																							
交付対象事業																																		
A 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																				
								H25	H26	H27	H28	H29																						
1-A1-1	住宅	一般	宇佐市	直/間	市/個人	宇佐地区街なみ環境整備事業	修景、道路美装化等・宇佐地区内						1,000																					
								合計					1,000																					
B 関連社会資本整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																		
										H25	H26	H27	H28	H29																				
								合計																										
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
C 効果促進事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																		
										H25	H26	H27	H28	H29																				
1-C-1																																		
1-C-2																																		
1-C-3																																		
1-C-4																																		
1-C-5																																		
								合計																										
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
1-C-1																																		
1-C-2																																		
1-C-3																																		
1-C-4																																		
1-C-5																																		

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (地域住宅支援)

計画の名称	宇佐神宮を中心とした歴史的景観まちづくりと観光交流空間の創出		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	宇佐市



1-A1-1
宇佐地区・街なみ環境整備事業

- 基幹事業
- 効果促進事業

社会資本整備総合交付金チェックシート

(街かんタイプ)

計画の名称 : 宇佐神宮を中心とした歴史的景観まちづくりと観光交流空間の創出

地方公共団体名: 宇佐市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性が確保されている。	●
②景観形成を図るべき地域として位置付けられている又は位置付けられる予定である。 (地域名称等: 宇佐勅使街道地区)	●
③地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	●
④地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	●
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 ① 既存住宅ストックの有効活用 ② まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ 住宅・建築物の安全・安心確保 ③ 良好な住環境の整備 ④ 地域の特色ある街並みの整備 ⑤ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	●
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	●
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	●
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	●
④地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	●
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	●
②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	●
③事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	●
④計画期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	●